

SoftBank のフィッシングサイトが急増 前月比でフィッシングサイトが 8 倍、偽警告サイトが 100 倍に

～インターネット詐欺リポート 詐欺ウォール®による検知・収集データ～

インターネット詐欺リポートは詐欺ウォール®の検知エンジンを強化するために調査・収集しているインターネット詐欺サイトを分析したレポートになります。2024年2月度のインターネット詐欺リポートでは、SoftBank のフィッシング詐欺が増加している点を取り上げます。

目次：

- SoftBank のフィッシングサイトと背警告サイトが急増
- 三菱 UFJ 銀行のフィッシングサイトに注意
- フィッシングサイトカテゴリ別構成比
- フィッシング詐欺被害防止のポイント
- サイトを無料診断「詐欺サイトチェッカー」
- 2024年2月 詐欺サイト検知率リポート

調査・収集したデータによる分析

■SoftBank のフィッシングサイトと偽警告サイトが急増

2 月度は SoftBank のフィッシングサイト*1 の報告数が前月比 8 倍に増加、警告を出して偽物のソフトウェアをインストールさせようとする偽警告サイトは前月比 100 倍に増加しています。これらのサイトはダイナミック DNS サービス*2 「Duck DNS*3」にホストされているケースが多く見られます。

「Duck DNS」は無料で使用できるサービスであるため、それを悪用して様々なブランドでフィッシングサイトが作成されており、注意が必要です。



Softbank のフィッシングサイト



SoftBank の偽警告サイト



Duck DNS のサービスを利用したサイト

※画像はサイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

*1「フィッシングサイト」は 実在する銀行や EC サイト等を装って個人情報を詐取する可能性のあるサイト

*2「ダイナミック DNS」(正式名称はダイナミックドメインネームシステム)は、IP アドレスが変更されたときに DNS レコードを自動的に更新できるサービス

*3「Duck DNS」はダイナミック DNS サービスの 1 つ

■三菱 UFJ 銀行のフィッシングサイトに注意

3 月に入り、三菱 UFJ 銀行のフィッシングサイトが急増しています。こちらも SoftBank と同様に「Duck DNS」にホストされており、報告数が急増しています。主に SMS などではらまかれ、「お取引の制限を行いました」といった文言でサイトにログインさせて情報を詐取する手口です。



三菱 UFJ 銀行のフィッシングサイト

※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

















■フィッシングサイトブランドランキング

2 月度は SoftBank が 1 位となりました。またクレジットカードのフィッシングサイトも増加傾向にあります。イオンカードは実数ベースで 6 倍に増加、SAISON CARD も 2 倍に増加しています。またランキングには入っていませんが、Mastercard も急増しており注意が必要です。

	2024年1月	割合	2024年2月	割合
1	えきねっと	19.69%	SoftBank	43.35%
2	Amazon	18.02%	イオンカード	10.07%
3	総務省	11.60%	Apple	7.37%
4	Apple	11.14%	NTT docomo	6.34%
5	SoftBank	9.56%	総務省	5.97%
6	SAISON CARD	5.00%	SAISON CARD	5.63%
7	三井住友カード	4.75%	えきねっと	3.41%
8	ETC利用照会サービス	3.61%	三井住友カード	2.12%
9	イオンカード	3.06%	ETC利用照会サービス	1.64%
10	エポスカード	2.01%	American Express	1.40%

■フィッシングサイトカテゴリ別構成比

2 月度は「携帯キャリア」のフィッシングサイト構成比が大きく増加しました。これは SoftBank のフィッシングサイトが実数ベースで増加したことに起因しています。「Web サービス」はえきねっと等の報告数が減少、また「携帯キャリア」の増加により構成比が下がっています。「EC サイト」は、Amazon の報告数が減少しており構成比が下がっています。

	2024年1月	2024年2月			2024年1月	2024年2月	
 銀行	1.55%	1.29%	↓	 官公庁	12.09%	6.81%	↓
 携帯キャリア	10.16%	49.67%	↑	 株 / 証券	0.03%	0.01%	↓
 クラウドサービス	0.00%	0.01%	↓	 SNS	0.67%	0.38%	↓
 消費者金融 キャッシング	0.00%	0.00%	→	 仮想通貨	0.09%	0.12%	→
 クレジットカード	16.75%	23.07%	↑	 Webメール	0.07%	0.06%	↓
 ECサイト	19.84%	2.18%	↓	 Webメール ユーザー	0.00%	0.01%	↓
 ポータルサイト	0.01%	0.04%	→	 Webサービス	37.72%	15.52%	↓
 プロバイダー	0.94%	0.81%	↓	 その他	0.08%	0.02%	↓

※5ポイント以上上昇したカテゴリは赤色の矢印になります。

※5ポイント以上減少したカテゴリは黄色の矢印になります。

■フィッシング詐欺被害防止のポイント

1. メールやSMSで案内されたURLが正規のURLか確認する
メールやSMSメッセージ上のリンクはクリックせず、事前に登録しておいたブックマークやウェブ検索で正規サイトへアクセスする。または、怪しいサイトを診断する無料サービスを利用し事前にURLをチェックする
2. 個人情報やクレジットカード番号の入力を促すメール・SMSに注意する
クレジットカード会社などでは、個人情報やクレジットカード情報などについてメール・SMSでの問い合わせは行っていないため、情報入力させるページに誘導するメールには細心の注意を払いましょう。
3. ログインID・パスワードの使い回しを控える
複数のサービスサイトで同じログインID・パスワードを使い回していると、フィッシング詐欺によってログインID・パスワードが詐取された場合、他のサービスサイトの不正利用被害に遭う可能性が高まります。被害を最小限に抑えるためにもログインID・パスワードの使い回しはせず、サービスごとに登録内容を変更し管理を行うようにしましょう。
4. セキュリティソフトやネット詐欺専用ソフトを導入する
犯罪者の手口は日々巧妙化しており、今まで意識してきた対策が通用しなくなる可能性があります。日々進化するネット犯罪に対抗するにはセキュリティソフトを導入することも必要です。不審なサイトにアクセスした際に注意喚起を行ってくれます。

■詐欺サイトを無料で診断「詐欺サイトチェッカー」

日々増加するインターネット詐欺、詐欺サイトかどうかをチェックできるサービス「詐欺サイトチェッカー」を提供開始しました。詐欺ウォールが独自で収集した詐欺サイトのブラックリストと各官公庁から通報のあった詐欺サイトのブラックリストを元に無料で気になるサイトをチェックします。

詐欺サイト チェッカー

Powered by 詐欺ウォール

詐欺ウォールが収集したブラックリストを元に無料で気になるサイトをチェックします。

ネット詐欺
かも・・・



チェック

●ご利用についてのご注意（ご利用の際は必ずご確認ください。）

サイト URL:<https://checker.sagiwall.jp/>

詐欺ウォール利用者が検知したデータによる分析

■2024年2月詐欺サイト検知率レポート

詐欺ウォールとは日本人をターゲットにしたインターネット詐欺をブロックする、ネット詐欺専用セキュリティソフトです。従来の検知手法である「ブラックリスト検知」に加え、詐欺ウォール独自のネット詐欺検知エンジンである「ヒューリスティック検知」「AI 検知」のトリプルブロックで、ウイルス対策ソフトでは検知困難な巧妙な手口の詐欺サイトを検知します。

詐欺ウォールを開発・提供する BB ソフトサービスでは、公的機関などとの連携によって収集した詐欺サイト URL を利用し、定期的に詐欺サイトの検知率調査を行っています。2024年2月の詐欺ウォールによる詐欺サイト検知率は91.6%と他社と比較し高い結果となりました。

< 検知率調査概要 >

https://www.sagiwall.jp/report/about_report.html

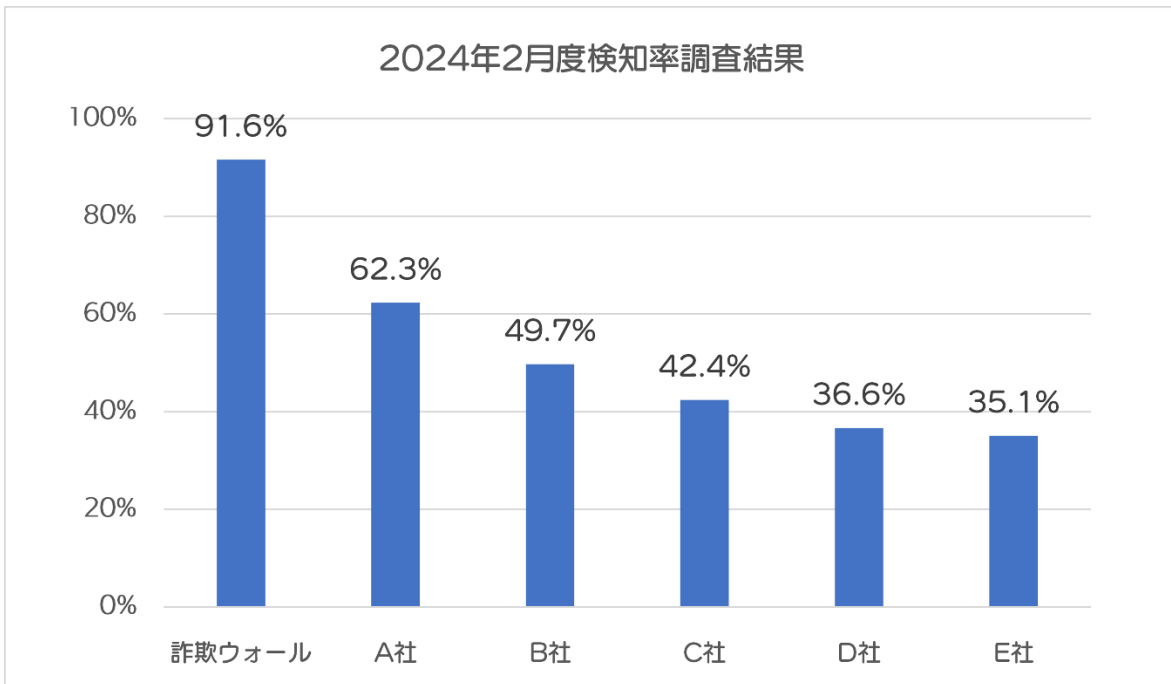
< 調査期間 >

2024年2月6日、2月22日

< 調査対象 URL >

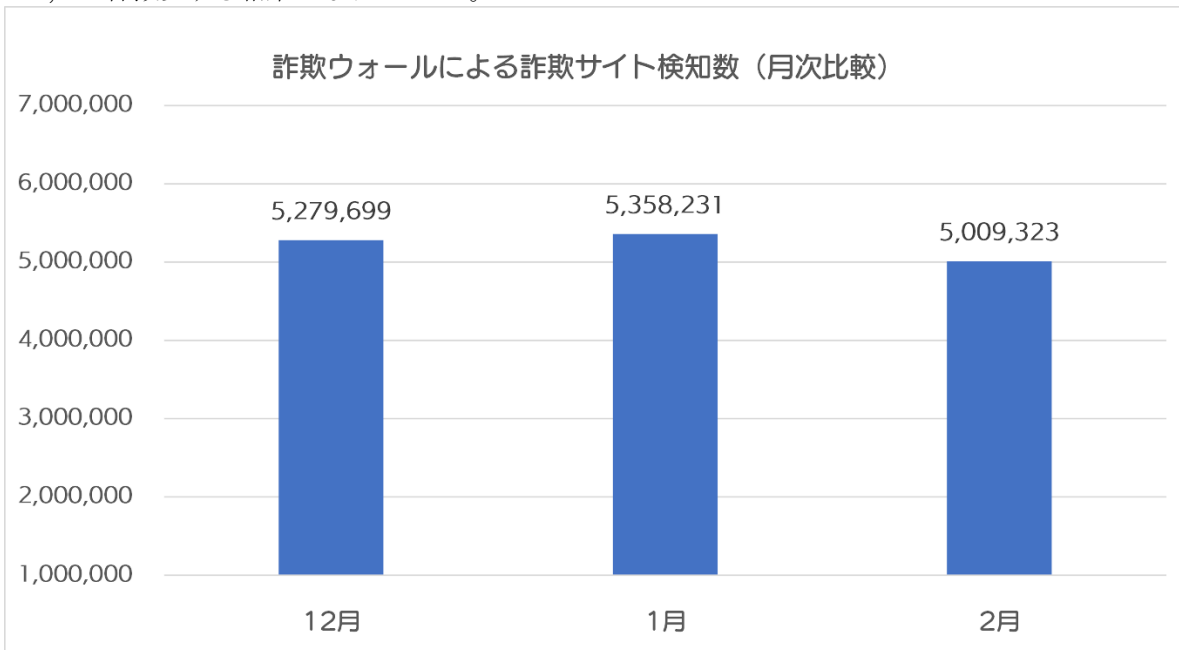
公的機関などから提供された詐欺サイト URL 計 191 件

< 調査結果 >



■2024年2月 詐欺サイト検知数レポート

2024年2月の詐欺ウォールによる詐欺サイト検知数は5,009,323件で、2024年1月と比較すると、348,908件減少する結果となりました*。



※以下記載のアプリバージョン以上の詐欺ウォールを利用しているお客様のアクセス数値を集計
Windows版：3.3.0 / macOS版：3.5.0 / Android版 1.7.0 / iOS版 3.2.0.4

■2月度詐欺ウォール利用者が遭遇している詐欺サイトの傾向

2月度に詐欺ウォール利用者が遭遇している詐欺サイトのTOP3はこちらの結果となりました。

※実際に遭遇しているネット詐欺サイトと調査収集しているネット詐欺サイトでは違った傾向が見られます。

1位 SoftBank



※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

今月は SoftBank が 1 位となっています。Duck DNS にホストされています。

2位 Mastercard



※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

Mastercard のフィッシングサイトが 2 位にランクインしています。収集ベースでも増加傾向です。

3.位 Apple



※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

Apple が 3 位にランクインしています。iPhone ユーザーが多いことが影響していると考えられます。

※本記事に記載の「詐欺ウォール」の対象には、「詐欺ウォール」の名称で提供する製品の利用者のみでなく、他の名称で提供している製品の利用者も含まれます。

■ 「詐欺ウォール® / Internet SagiWall™」について

日本人を標的とするネット詐欺サイトをブロックする、ネット詐欺専用セキュリティソフトです。ウェブブラウザでサイト閲覧中の不用意に悪意のあるサイトにアクセスした場合でも、コンテンツをリアルタイムで検査し自動的にブロックします。ウイルス対策ソフトでは検知が難しい巧妙な詐欺サイトであっても独自

の AI 検知技術で高い精度で検出するため、ウイルス対策と併用することでユーザーの安全を高めます。パソコンやスマートフォンの利用に慣れていない方でも、簡単に利用でき、サイバー犯罪被害を未然に防ぐことができます。

※詐欺ウォール®は、iOS、mac OS、Windows®、Android™版を提供しています。

<詐欺ウォール® / Internet SagiWall™製品サイト URL>

<https://www.sagiwall.jp/>

■BB ソフトサービス株式会社について

ソフトバンクグループにおいて、セキュリティ製品を主軸とするソフトウェアサービスを、ISP や携帯電話会社などの通信事業者を通じて提供しています。サービス提供のみならず、フィッシング対策協議会やその他の社外団体を通して情報セキュリティに関する啓発活動にも積極的に取り組んでいます。一般消費者のサイバー犯罪被害を減らし、よりよいインターネット利用環境を全てのユーザーに提供することで社会貢献を果たしてまいります。

<会社概要>

社名： BB ソフトサービス株式会社

所在地： 東京都港区海岸 1 丁目 7 番 1 号 WeWork 東京ポートシティ竹芝

社長： 代表取締役社長 兼 CEO 草川 和哉

設立日： 2006 年 1 月 17 日

株主： SB C&S 株式会社 100%

事業内容： ブロードバンドを利用したコンシューマー・SOHO 用アプリケーションサービス、およびオリジナルアプリケーションサービスの企画・開発・販売・運営

URL： <https://www.bbss.co.jp/home.html>

<お問い合わせ先>

BBSS 広報事務局

担当：池谷、阿彦、山田

bbsspr@bbss.co.jp